



躍動するスピリッツ、深め合う絆

本学の公認団体として、体育会所属の運動部・団体が54団体、体育会に所属していない体育系サークルが31団体、文化系サークルが98団体あります。そのほか、多くの課外活動学生団体が熱心な活動を行っています。

硬式野球部

硬式野球部は、2023年春には水口創太投手が福岡ソフトバンクホークスに入団し、部員の士気も高まっています。アナリストとして阪神タイガースに入団した三原大知スタッフを筆頭に始まった、最新機器を用いたチームの強化が着実に実を結びつつあります。2024年春季リーグ戦では、外野手の山本陶二さんが首位打者とベストナインに、遊撃手の細見宙生さんもベストナインに選出されました。



男子・女子ラクロス部

男子ラクロス部は、関西学生リーグ戦1部優勝8回、全日本大学選手権準優勝4回を誇り、本学の体育会の中でも好成績を残しています。女子ラクロス部は、全員が大学からラクロスを始めますが、2022年度には創部以来30年の悲願を達成し、関西学生リーグ戦1部への昇格を決め、新たなステージで躍動しています。



ヨット部

約90年の歴史を持つ京大ヨット部は、表彰台に登ること35回と華々しい結果を残してきました。2023年、小戸の海にて470級入賞、そして約50年ぶりの快挙となる、3年連続の総合入賞を果たしました。同部の鈴木亮太郎さんは、全日本学生ヨット個人選手権において準優勝、全国七大学総合体育大会ヨット競技においてMVPを受賞するなど国内の主要大会にて数多くの好成績を収めました。



photo by Fumina Moriguchi / Kazi

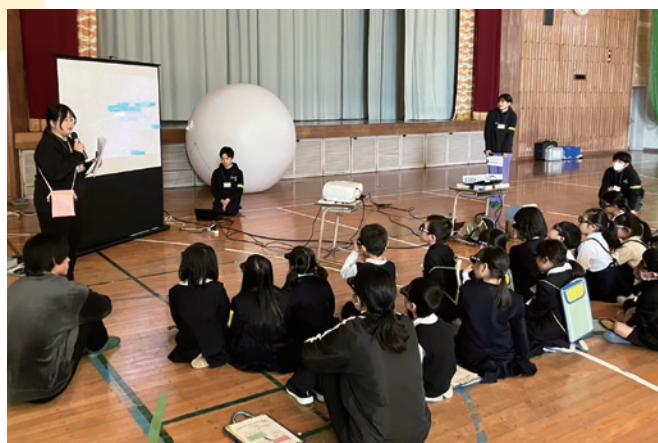
交響楽団

京都大学交響楽団（京大オケ）は、1916年の創設以来、100年以上の歴史をもつ学生オーケストラ団体です。常に音楽に対して真剣に取り組み、より良い音楽を届けることを目的とし、日々研鑽に励んでいます。年2回の定期演奏会のほか、他大学の学生オーケストラ団体との合同演奏会なども行っているほか、本学の卒業式や入学式の演奏も担当しています。



天文アウトリーチ学生団体あすちか

理学部の学生が中心となって2023年にスタートした「あすちか」。「天文学 (Astronomy) をみぢかに」を合言葉に、主に小学生に向けて天文教室や観望会を開催しています。さまざまな学習ツールを活用し、能動的に楽しんで学んでもらえるよう工夫しています。企画から活動資金獲得、運営までを学生主体で行っているのも特徴で、昨年度は3校の小学校で活動しました。



iGEM Kyoto

京都大学の学部生による研究チーム「iGEM Kyoto」が、2023年11月2日から5日までフランス・パリで開催されたiGEM 2023 GRAND Jamboreeに出場し、金賞を受賞しました。また同時にBest Agriculture Project、Best Wiki、Best Hardwareの各最終候補にもノミネートされ、チーム始まって以来の最高の成績を達成しました。iGEM (International Genetically Engineered Machine competition) は、2003年から米国で開催されてきた合成生物学の学生研究コンテストです。iGEM Kyotoは、Avoideerと題したプロジェクトに取り組み、農作物に対する鹿による食害を合成生物学の力で防ぐ研究を行いました。遺伝子組換え実験に加えて、数理モデリング、ハードウェアの作成、高校生への教育活動など、幅広い活動が高く評価されました。

